

令和8年度島根県歯科医師会  
学術講演会 June 7<sup>th</sup>, 2026

# 学校歯科健康診断での咬合評価 から矯正歯科への連携まで

～歯科矯正相談料・報告書・パノラマ撮影の意義～

RyU りゅう矯正歯科クリニック  
Orthodontics  
松本 龍介

# 本日のテーマ

## • 学校歯科健康診断での咬合評価

- 歯列・咬合判定の「2」とは
- 注意が必要な歯列の状態について

## • 歯科矯正相談料の算定

- 「歯列・咬合」を指摘され、「歯科健康診断結果のお知らせ」を持参した児童への対応
- 結果報告書（説明書）の記載について

## • かかりつけ医での歯列・咬合管理

- パノラマ撮影の重要性
- 矯正歯科専門医との連携について

# 学校歯科健康診断での咬合評価

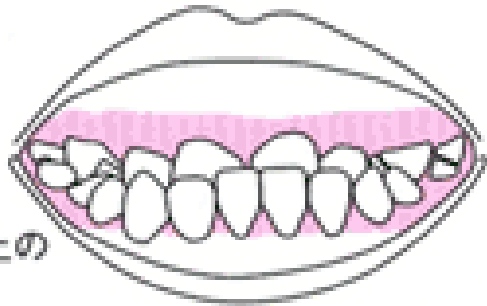
# 歯列・咬合



- 口を開閉させて歯列・咬合の状態を検査する
  - 異常なし → 0
  - 定期的観察が必要 → 1
  - 専門医（歯科医師）による診断が必要 → 2

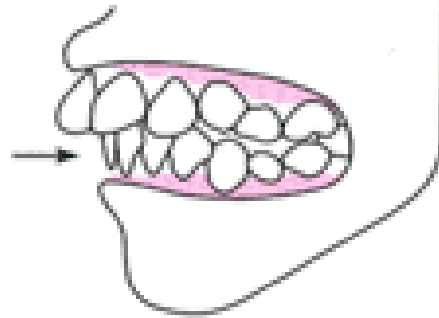
## 咬合判定「2」の基準

### ■ 下顎前突



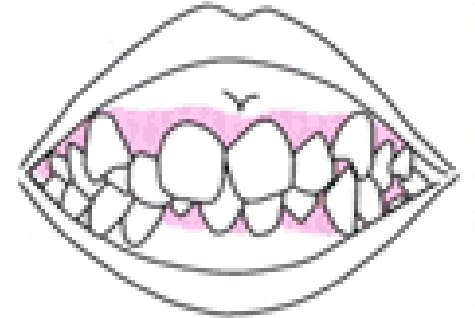
前歯部 2 歯以上の  
逆被蓋

### ■ 上顎前突



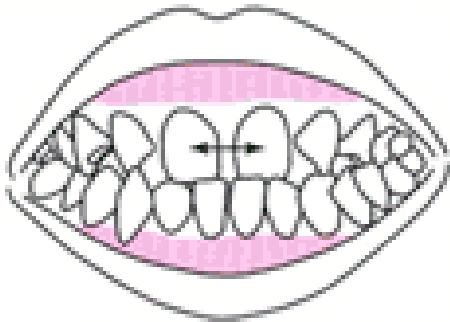
オーバージェット  
が 7~8mm 以上  
(デンタルミラーの  
直径の半分以上)

### ■ 叢 生



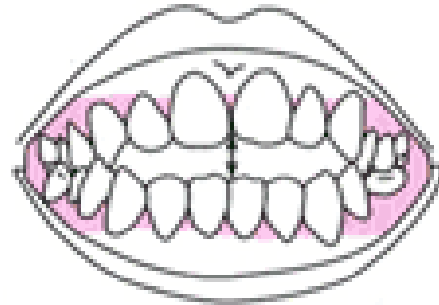
隣接歯が互いの  
歯冠幅径の 1/4  
以上重なり合っ  
ているもの

### ■ 正中離開



上顎中切歯間の  
空隙が 6mm 以上  
(通常のデンタル  
ミラーのホルダー  
の太さ以上)

### ■ 開 咬



上下顎前歯切縁間  
の空隙が 6mm 以上  
(通常のデンタル  
ミラーのホルダー  
の太さ以上)。た  
だし、萌出が歯冠  
長の 1/3 以下のもの  
は除外

### ■ その他

これら以外の状態で特に注意すべき咬合並びに特記事項 (例えば、過蓋咬合、交叉咬合、鉸状咬合、逆被蓋 (たとえ 1 歯でも咬合性外傷のあるもの)、軟組織の異常、過剰歯、限局した著しい咬耗など)

# 下顎前突



- 前歯部 2 歯以上の逆被蓋（反対咬合）

➤ よくある咬合状態：側切歯の交差咬合

➤ 特に注意が必要な状態：咬合性外傷により、下顎前歯部の歯肉退縮が起こっている、歯牙の咬耗が進行している



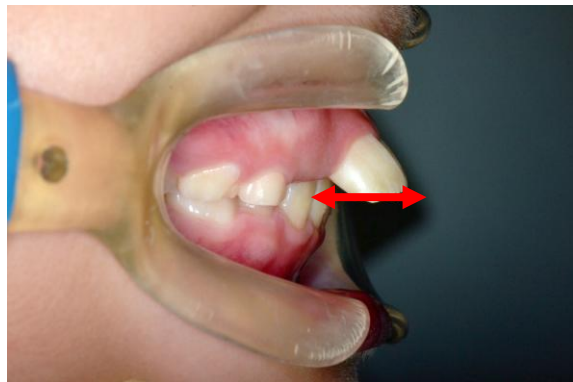
# 上顎前突



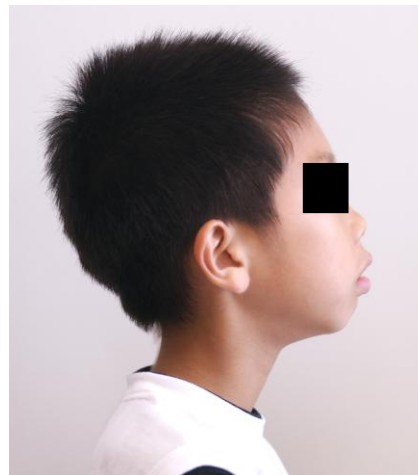
- オーバージェットが7～8 mm以上  
(デンタルミラーの直径の半分以上)

▶ よくある状態：口唇閉鎖不全（口ポカン）

▶ 特に注意が必要な状態：外傷により前歯が欠けている、折れている



オーバージェット（水平被蓋）



# 叢生



- 隣接歯が互いの歯冠幅径の  $1/4$  以上重なり合っているもの

▶ よくある咬合状態：側切歯の交叉咬合

▶ 特に注意が必要な状態：隣接面カリエスが進行している  
片側は萌出しているのに反対側の萌出がなく歯肉の膨隆もない

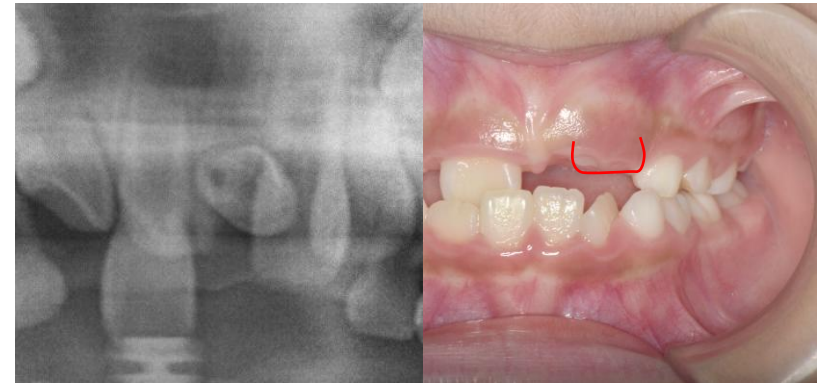


# 正中離開（空隙歯列）



- 上顎中切歯間の空隙が 6 mm以上  
（通常のデンタルミラーのホルダーの太さ以上）

- よくある状態：舌突出癖が強い、側切歯の先天欠損
- 特に注意が必要な状態：空隙が大きい場合、正中に過剰歯が埋伏している可能性がある



# 開咬



- 上下顎前歯切縁間の空隙が 6 mm 以上  
(通常のデンタルミラーのホルダーの太さ以上)  
ただし、萌出が歯冠長の 1 / 3 以下のものは除外

▶ よくある状態：低位舌・舌突出癖を伴う

▶ 特に注意が必要な状態：垂直的のみならず、水平的なオーバージェットも大きい場合、指しゃぶりの可能性もある



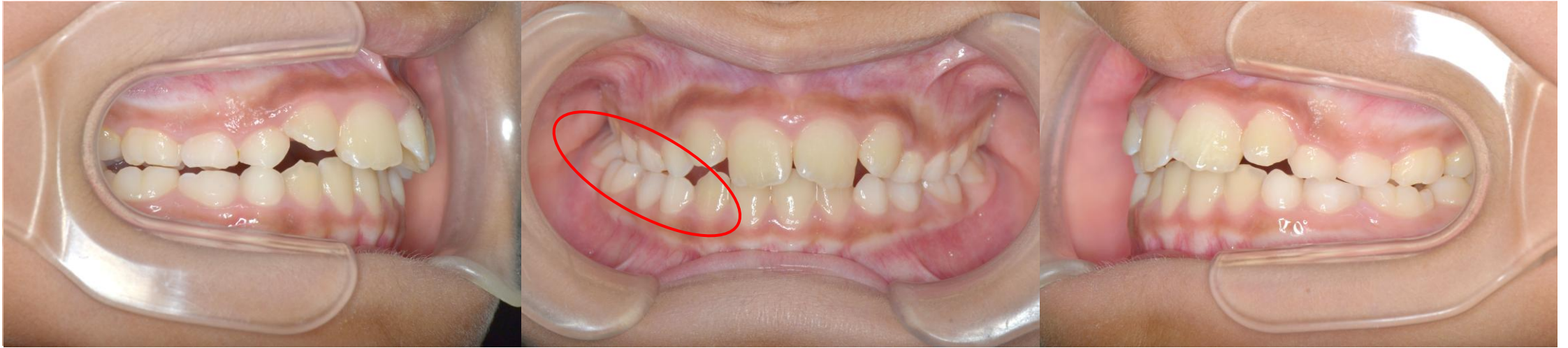
# その他（過蓋咬合）



- よくある状態：下顎前歯で口蓋を咬みこむため、圧痕や口蓋側の歯肉退縮が起こりやすい
- 特に注意が必要な状態：顎関節症状がある場合は、下顎骨の成長が抑制される可能性があり、早めの専門医への受診が望ましい



# その他（交叉咬合）



- よくある状態：片側性の交叉咬合の場合、顔貌も非対称となっていることが多い
- 特に注意が必要な状態：顎関節症状がある場合は、更なる顔面非対称の原因となることもあるため、早めの専門医への受診が望ましい



# その他（鋏状咬合）



- よくある状態：第二・第三大臼歯の萌出に伴い、さらにすれ違いがひどくなりやすい
- 特に注意が必要な状態：顎関節症状がある場合は、下顎骨の成長が抑制される可能性があり、早めの専門医への受診が望ましい



# その他（逆被蓋・咬合性外傷）



- 咬合状態やブラキシズム等によって、下顎前歯が唇側転位する力が加わったり、上顎前歯に突き上げがあると生じやすい
- 特に注意が必要な状態：歯肉退縮や歯肉の発赤・腫脹が著明である場合は、早めに矯正治療を受けることが望ましい

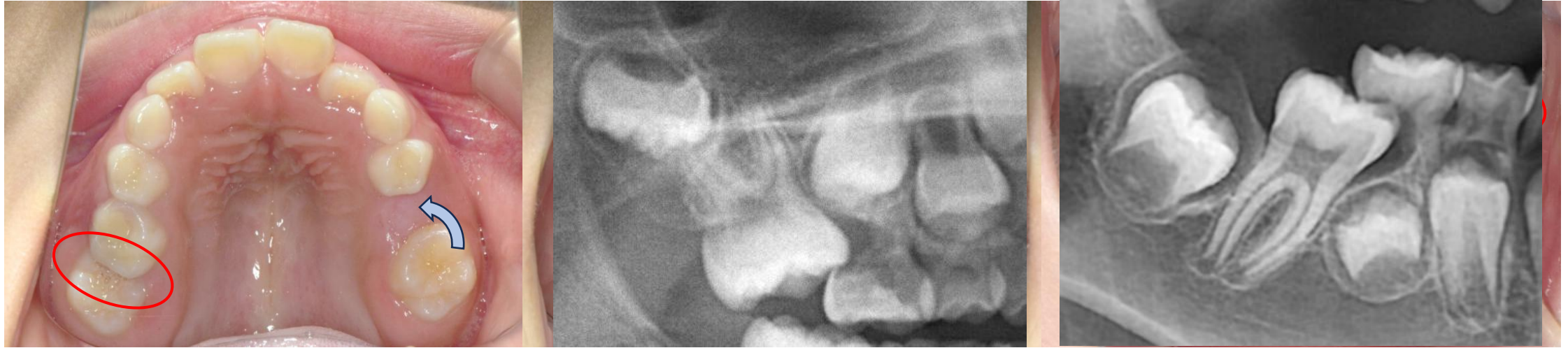


# その他（過剰歯）



- 順生の過剰歯の多くは口腔内に萌出してくるため、萌出後の抜歯が良い  
逆生の過剰歯は、時間の経過とともに鼻腔方向へ進んだり、永久歯萌出の際の妨げになることがあり注意が必要
- 過剰歯の抜歯後に矯正治療が必要と考えられる場合は、まず矯正歯科へ紹介するのが望ましい

# その他 (第一大臼歯 異所萌出・ectopic eruption)



- よくある状態：第二乳臼歯の内部吸収をカリエスと間違いやすい
- 特に注意が必要な状態：第二乳臼歯が脱落すると第一大臼歯の近心ローテーションや近心傾斜が起こり始めるので、早めの専門医への受診が望ましい



# その他（異所埋伏・萌出不全）



# 「歯科矯正相談料」について



# 対応の手順

## 初診

「歯科健康診断結果のお知らせ」から、健康診断の実施日または通知日、結果、学校名を診療録に記載するか、「歯科健康診断結果のお知らせ」を複写して診療録に添付する。



### 医療面接および検査

- 医療面接  
(別に厚生労働大臣が定める疾患の有無・家族歴・口腔習癖等)
- 必要に応じて顔貌写真
- 必要に応じて口腔内写真
- 必要に応じてエックス線撮影 (パノラマ・セファロ)、歯列模型等



# 対応の手順



## 下記に該当するかどうかを診断する

- 別に厚生労働大臣が定める疾患に起因した咬合異常
- 3 歯以上の永久歯萌出不全（前歯及び小白歯の永久歯のうち3歯以上の萌出不全がある場合に限る。）に起因した咬合異常（埋伏歯開窓術を必要とするものに限る。）
- 顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)



## 歯列矯正の保険適用の可否の判断



結果を「学校歯科健康診断に伴う歯科矯正相談における結果報告書（説明書）」に記載して提供する。  
文書の複写を取り、その写しを診療録に添付する。

# 医療面接

- 既往歴

「厚生労働大臣が定める疾患」を有しているか聴取

- 家族歴

骨格系や歯牙の大きさ等には遺伝傾向がある場合があるため、顔つきが似ている血縁者や歯列・咬合の傾向を確認

- 習癖、睡眠時の姿勢

口腔習癖（舌癖、口呼吸、指しゃぶり等）の既往を確認  
態癖（姿勢の不良、口ポカン、睡眠時の姿勢等）も確認



# 顔面写真

- 正貌では左右の対称性、上下顎の変形がないか確認
- 側貌は、正常か凸型（上顎前突）、凹型（下顎前突）か判断
- その他、口唇閉鎖時のオトガイの緊張等も確認



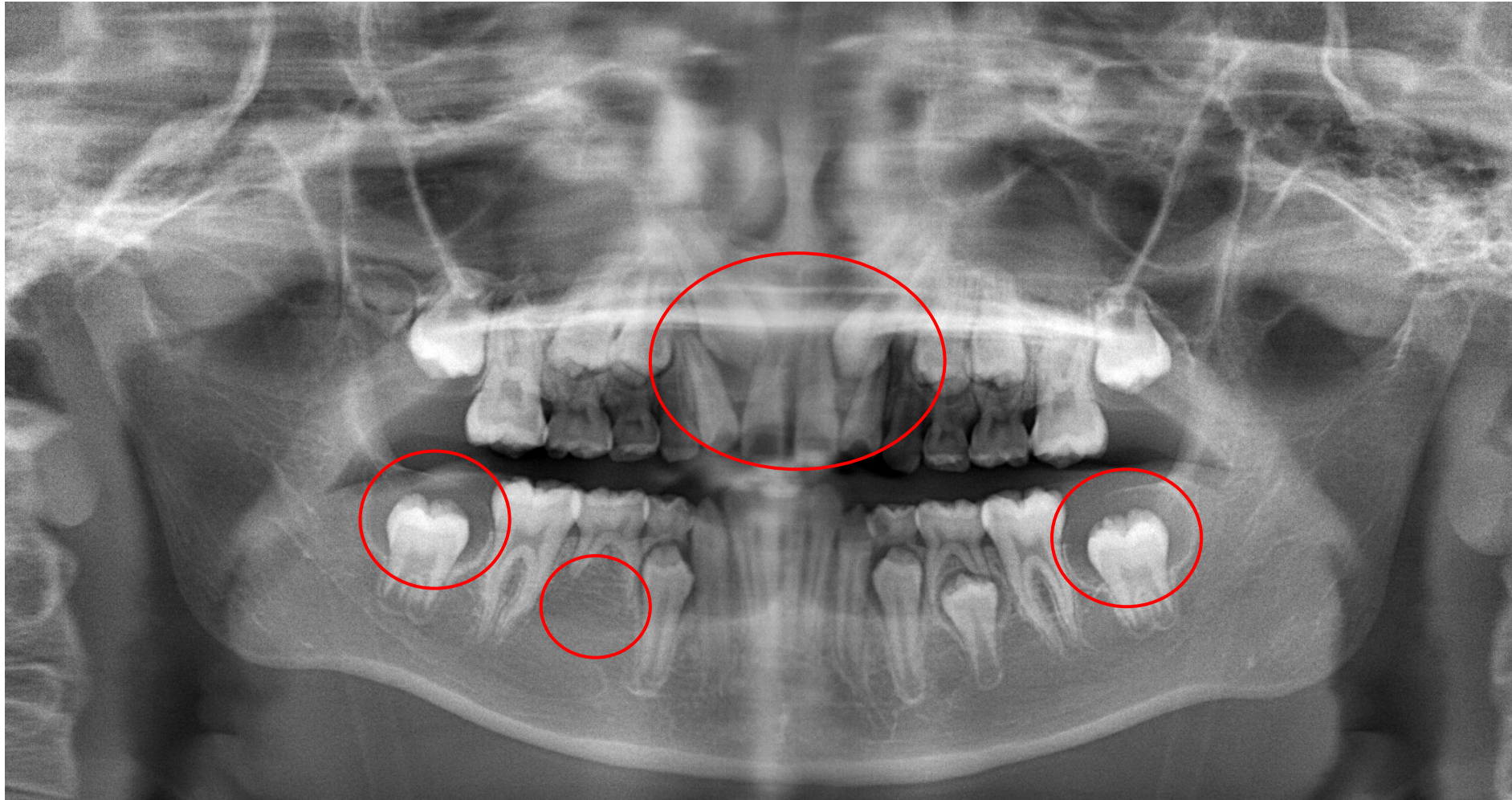
# 口腔内写真

- 歯列咬合の異常（叢生、反対咬合、上顎前突、開咬、過蓋咬合、正中離開、臼歯部交叉咬合等）を確認。



# パノラマX線写真

歯数の確認、歯列・顎の変形や病変を確認する



# 正面・側面セファログラム

骨格的な特徴の評価に利用する

(歯科矯正相談料 1 算定の場合 = 保険矯正が可能な医療機関のみ算定可能)



# 歯列模型（スタディモデル）

臼歯部の咬合状態や歯列を内面から観察できる（印象採得・製作の負担も大きいため必要に応じて）



# 診断



矯正歯科治療の必要性および  
歯列矯正の保険適用の可否の判断

# 矯正歯科治療が保険適用となる場合

- ◎ 別に厚生労働大臣が定める疾患に起因した咬合異常
- ◎ 3 歯以上の永久歯萌出不全に起因した咬合異常
- ◎ 顎変形症（顎離断等の手術を必要とするものに限る）
- ◎ 18歳未満の患者であって、連続した3歯以上の先天欠如歯に起因した咬合異常  
（令和8年度診療報酬改定より）

# 別に厚生労働大臣が定める疾患

1. 唇顎口蓋裂
2. ゴールデンハー症候群  
(鰓弓異常症を含む)
3. 鎖骨頭蓋骨異形成
4. トリーチャ・コリンズ症候群
5. ピエール・ロバン症候群
6. ダウン症候群
7. ラッセル・シルバー症候群
8. ターナー症候群
9. ベックウィズ・ウイーデマン症候群
10. 顔面半側萎縮症
11. 先天性ミオパチー
12. 筋ジストロフィー
13. 脊髄性筋萎縮症
14. 顔面半側肥大症
15. エリス・ヴァンクレベルド症候群
16. 軟骨形成不全症
17. 外胚葉異形成症
18. 神経線維腫症
19. 基底細胞母斑症候群
20. ヌーナン症候群
21. マルファン症候群
22. プラダー・ウィリー症候群
23. 顔面裂 (横顔裂、斜顔裂及び正中顔裂を含む)
24. 大理石骨病
25. 色素失調症
26. 口腔・顔面・指趾症候群
27. メビウス症候群
28. 歌舞伎症候群
29. クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群
30. ウイリアムズ症候群
31. ビンダー症候群
32. スティックラー症候群
33. 小舌症
34. 頭蓋骨癒合症  
(クルーゾン症候群及び尖頭合指症を含む)
35. 骨形成不全症
36. フリーマン・シェルドン症候群
37. ルビンスタイン・ティビ症候群
38. 染色体欠失症候群
39. ラーセン症候群
40. 濃化異骨症
41. 6歯以上の先天性部分無歯症
42. CHARGE症候群
43. マーシャル症候群
44. 成長ホルモン分泌不全性低身長症
45. ポリエックス症候群  
(XXX症候群、XXXX症候群及びXXXXX症候群を含む)
46. リング18症候群
47. リンパ管腫
48. 全前脳胞症
49. クラインフェルター症候群
50. 偽性低アルドステロン症
51. ソトス症候群
52. グリコサミノグリカン代謝障害 (ムコ多糖症)
53. 線維性骨異形成症
54. スタージ・ウェーバ症候群
55. ケルビズム
56. 偽性副甲状腺機能低下症
57. Ekman-Westborg-Julin症候群
58. 常染色体重複症候群
59. 巨大静脈奇形 (頸部口腔咽頭びまん性病変)
60. 毛髪・鼻・指節症候群 (Tricho Rhino Phalangeal症候群)
61. クリッペル・ファイル症候群  
(先天性頸椎癒合症)
62. アラジール症候群
63. 高IgE症候群
64. エーラス・ダンロス症候群
65. ガードナー症候群  
(家族性大腸ポリポージス)
66. その他顎・口腔の先天異常  
  
(令和8年度改定)
67. 原発性低リン血症性くる病
68. ロイス・ディーツ症候群

初診

「歯科健康診断結果のお知らせ」を複写して診療録に添付する。

医療面接および検査

歯列矯正の保険適用の可否の判断

「学校歯科健康診断に伴う歯科矯正相談における結果報告書」に記載して患者へ提供し、その写しを診療録に添付する。

必要に応じて矯正歯科専門医院等に紹介  
（保険での矯正治療が可能な医療機関への紹介）

患者氏名				
検査日	年 月 日	年齢・性別	歳 か月 男・女	
学校歯科健康診断の実施日または通知日	年 月 日	学校名		
ヘルマンの歯齢	<input type="checkbox"/> IA:乳歯未萌出期 <input type="checkbox"/> II A:乳歯萌出完了期 <input type="checkbox"/> III A:第一大臼歯、前歯萌出完了期 <input type="checkbox"/> III C:第二大臼歯萌出開始期 <input type="checkbox"/> IV C:第三大臼歯萌出開始期	<input type="checkbox"/> I C:乳歯萌出開始期 <input type="checkbox"/> II C:第一大臼歯、前歯萌出開始期 <input type="checkbox"/> III B:側方歯群交換期 <input type="checkbox"/> IV A:第二大臼歯萌出完了期 <input type="checkbox"/> V A:第三大臼歯萌出完了期		
検査項目および所見 (実施した項目および該当する項目は✓または○で囲んでいます)	エックス線写真	<input type="checkbox"/> デンタル	<input type="checkbox"/> パノラマ	<input type="checkbox"/> セファロ
	写真	<input type="checkbox"/> 口腔内	<input type="checkbox"/> 顔面	
	顔面（正面）	<input type="checkbox"/> 左右対称	<input type="checkbox"/> 左右非対称	
	顔面（側面）	<input type="checkbox"/> 正常	<input type="checkbox"/> 凸型（上顎が出ている） <input type="checkbox"/> 凹型（下顎が出ている）	
	歯型の模型	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし	
	かみ合わせの異常	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし（経過観察を含む） ↳ <input type="checkbox"/> 反対咬合（受け口） ↳ <input type="checkbox"/> 上顎前突（出っ歯） ↳ <input type="checkbox"/> 開咬（上下の前歯が開いている） ↳ <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	歯並びの異常	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし（経過観察を含む） ↳ <input type="checkbox"/> 叢生 ↳ <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	永久歯の先天欠如	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 不明
	萌出に問題のある永久歯	<input type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 前歯 <input type="checkbox"/> 小臼歯 <input type="checkbox"/> 大臼歯
	口の機能の問題	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし ↳ <input type="checkbox"/> 口の習癖 <input type="checkbox"/> 咀嚼 <input type="checkbox"/> 嚥下 <input type="checkbox"/> 発音 ↳ <input type="checkbox"/> 呼吸 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
保険診療の対象となる疾患	<input type="checkbox"/> あり・疑いあり（疾患名： ） * <input type="checkbox"/> なし * <input checked="" type="checkbox"/> なしの場合でも、精密検査を行っていないため確定診断ではありません。			
結果	<input type="checkbox"/> 上記項目で「 <input checked="" type="checkbox"/> あり・疑いあり」の場合は、矯正治療が保険適用の可能性あります。（精密検査の結果・治療方針次第で自費診療となる場合もあります） <input type="checkbox"/> 今後、矯正治療が必要になる可能性があります。現時点では保険適用とはなりませんので、自費診療になります。			

※上記は 年 月時点での診断結果です。今後、お子様の成長や発育に伴って、将来的に歯並びやかみ合わせ等が変わり矯正治療が必要になる場合があります。その際は、再度精密な検査・診断が必要になります。

# 症例 1

< 9歳女子 >

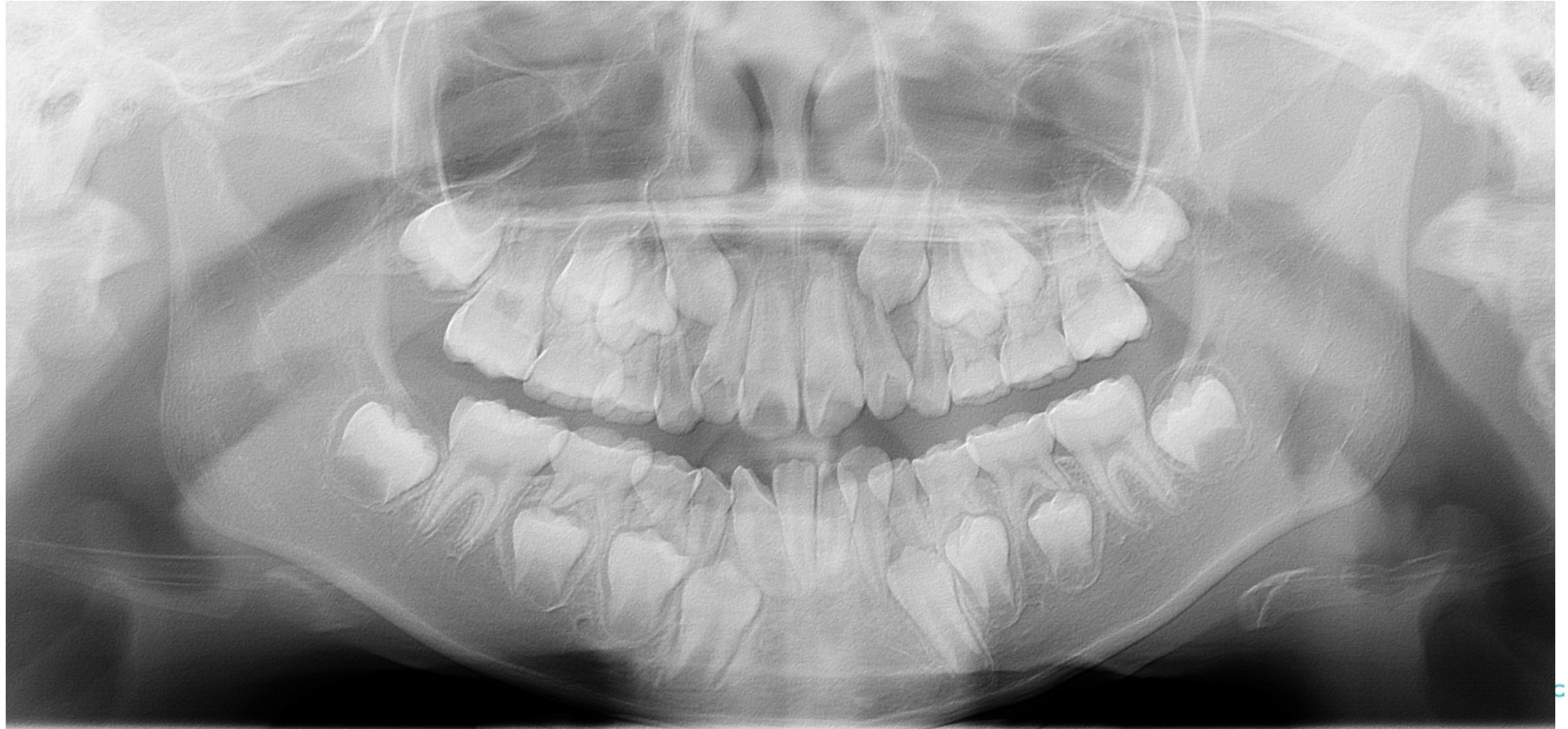
# 顔面写真



# 口腔内写真



# パノラマX線写真





# 矯正歯科治療が保険適用となる場合

- × 別に厚生労働大臣が定める疾患に起因した咬合異常
- × 3 歯以上の永久歯萌出不全に起因した咬合異常
- × 顎変形症（顎離断等の手術を必要とするものに限る）
- × 連続した3歯以上の先天欠如歯に起因した咬合異常

保険診療の対象となる疾患	<input type="checkbox"/> あり・疑いあり(疾患名： ) ※ <input checked="" type="checkbox"/> なし ※ <input checked="" type="checkbox"/> なしの場合でも、精密検査を行っていないため確定診断ではありません。
結果	<input type="checkbox"/> 上記項目で「 <input checked="" type="checkbox"/> あり・疑いあり」の場合は、矯正治療が保険適用の可能性が あります。(精密検査の結果・治療方針次第で自費診療となる場合もあります) <input checked="" type="checkbox"/> 今後、矯正治療が必要になる可能性があります。現時点では保険適用とはな りませんので、自費診療になります。

※上記は 年 月時点での診断結果です。今後、お子様の成長や発育に伴って、将来的に歯並びやかみ合わせ等が変わり矯正治療が必要になる場合があります。その際は、再度精密な検査・診断が必要になります。

保険医療機関名（担当歯科医師）： りゅう矯正歯科クリニック （ 松本 龍介 ）

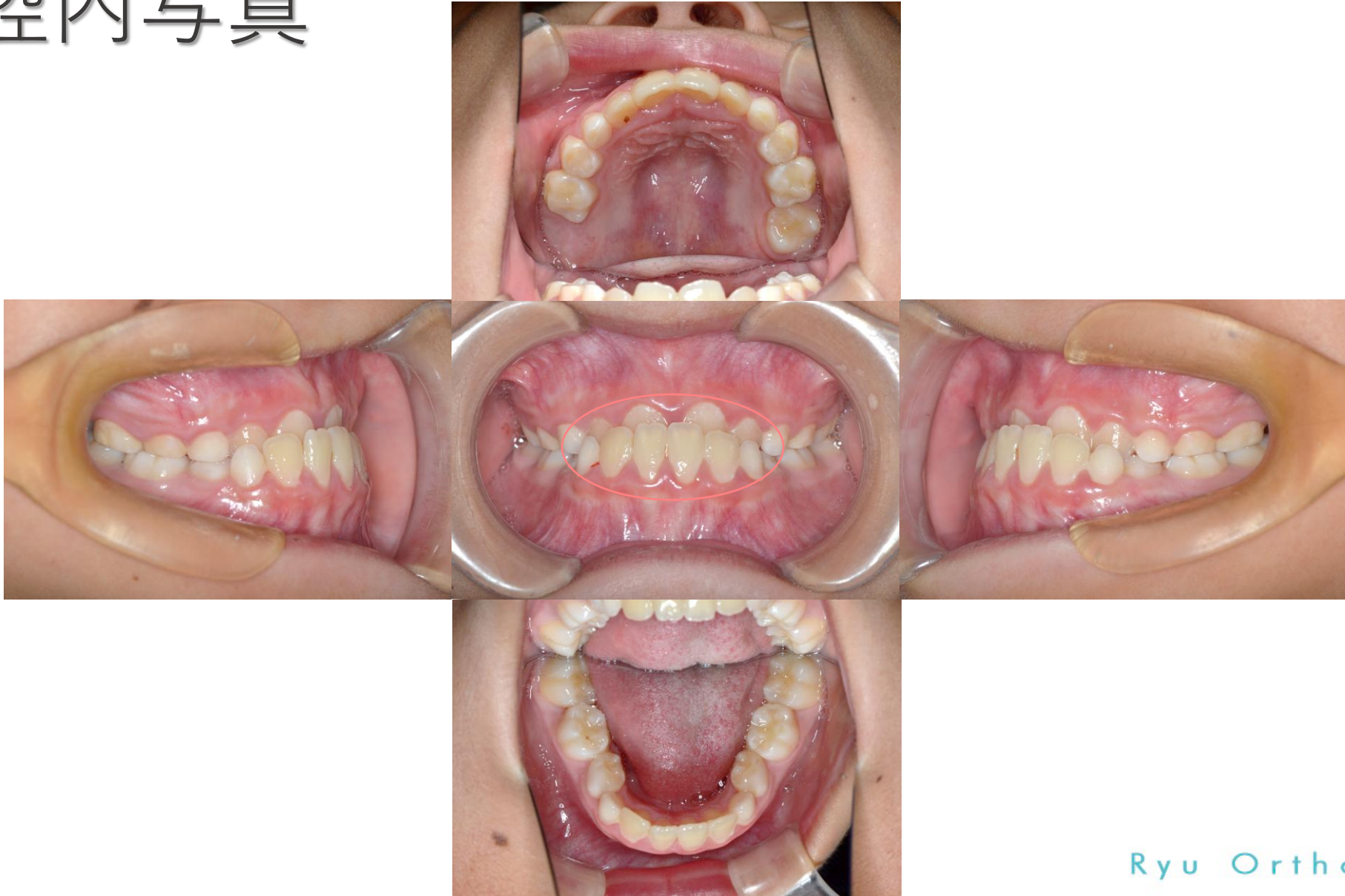
# 症例 2

< 9歳男子 >

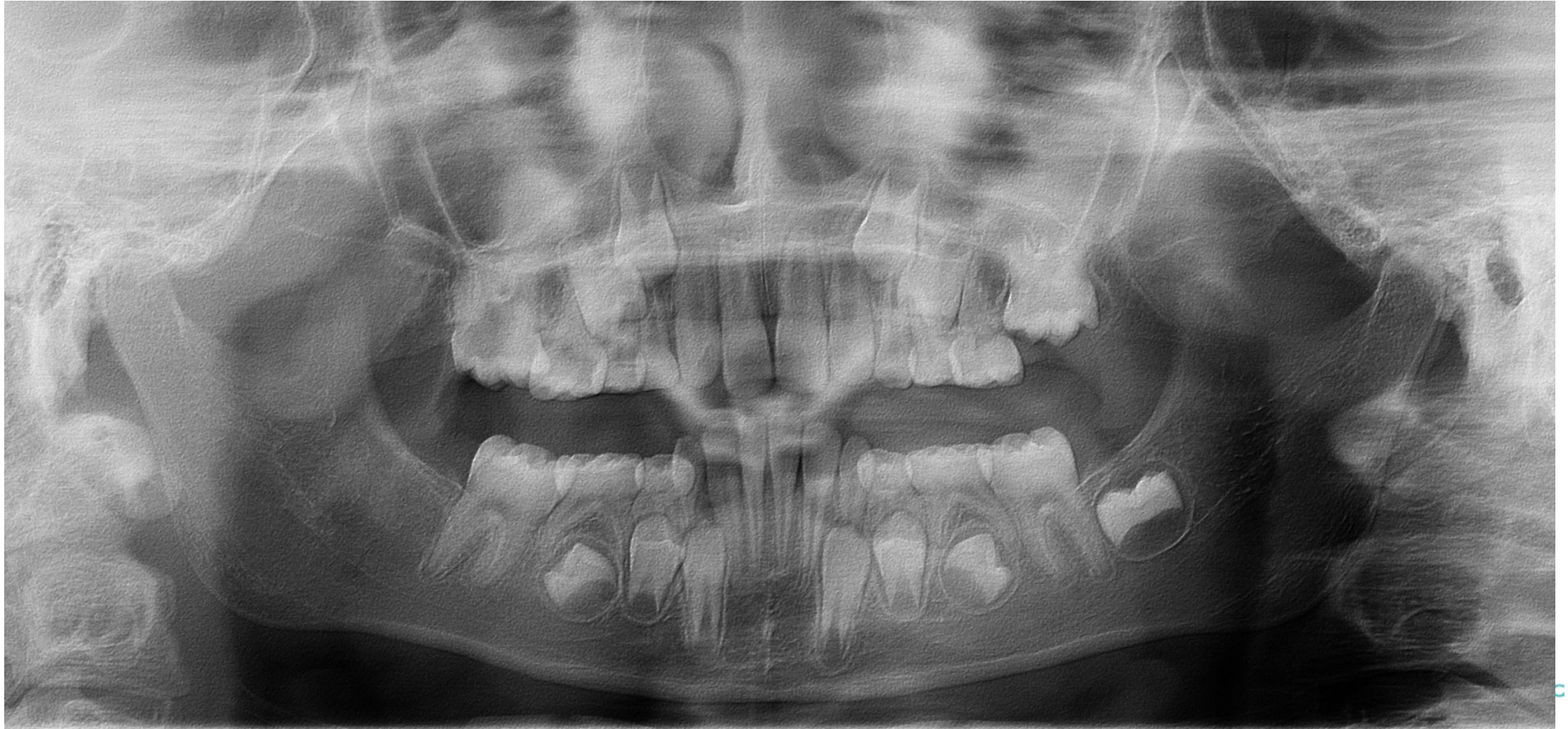
# 顔面写真



# 口腔内写真




# パノラマX線写真





# 矯正歯科治療が保険適用となる場合

- × 別に厚生労働大臣が定める疾患に起因した咬合異常
- × 3 歯以上の永久歯萌出不全に起因した咬合異常
- × 顎変形症（顎離断等の手術を必要とするものに限る）  
 残余成長が大きく将来の骨格の状況が不明な場合、病名を付けることが難しい
- × 連続した3歯以上の先天欠如歯に起因した咬合異常

保険診療の対象となる疾患	<input type="checkbox"/> あり・疑いあり(疾患名： ) ※ <input checked="" type="checkbox"/> なし ※ <input checked="" type="checkbox"/> なしの場合でも、精密検査を行っていないため確定診断ではありません。
結果	<input type="checkbox"/> 上記項目で「 <input checked="" type="checkbox"/> あり・疑いあり」の場合は、矯正治療が保険適用の可能性が あります。(精密検査の結果・治療方針次第で自費診療となる場合もあります) <input checked="" type="checkbox"/> 今後、矯正治療が必要になる可能性があります。現時点では保険適用とはな りませんので、自費診療になります。

※上記は 年 月時点での診断結果です。今後、お子様の成長や発育に伴って、将来的に歯並びやかみ合わせ等が変わり矯正治療が必要になる場合があります。その際は、再度精密な検査・診断が必要になります。

保険医療機関名（担当歯科医師）： りゅう矯正歯科クリニック （ 松本 龍介 ）

# 症例 3

< 10歳女子 >

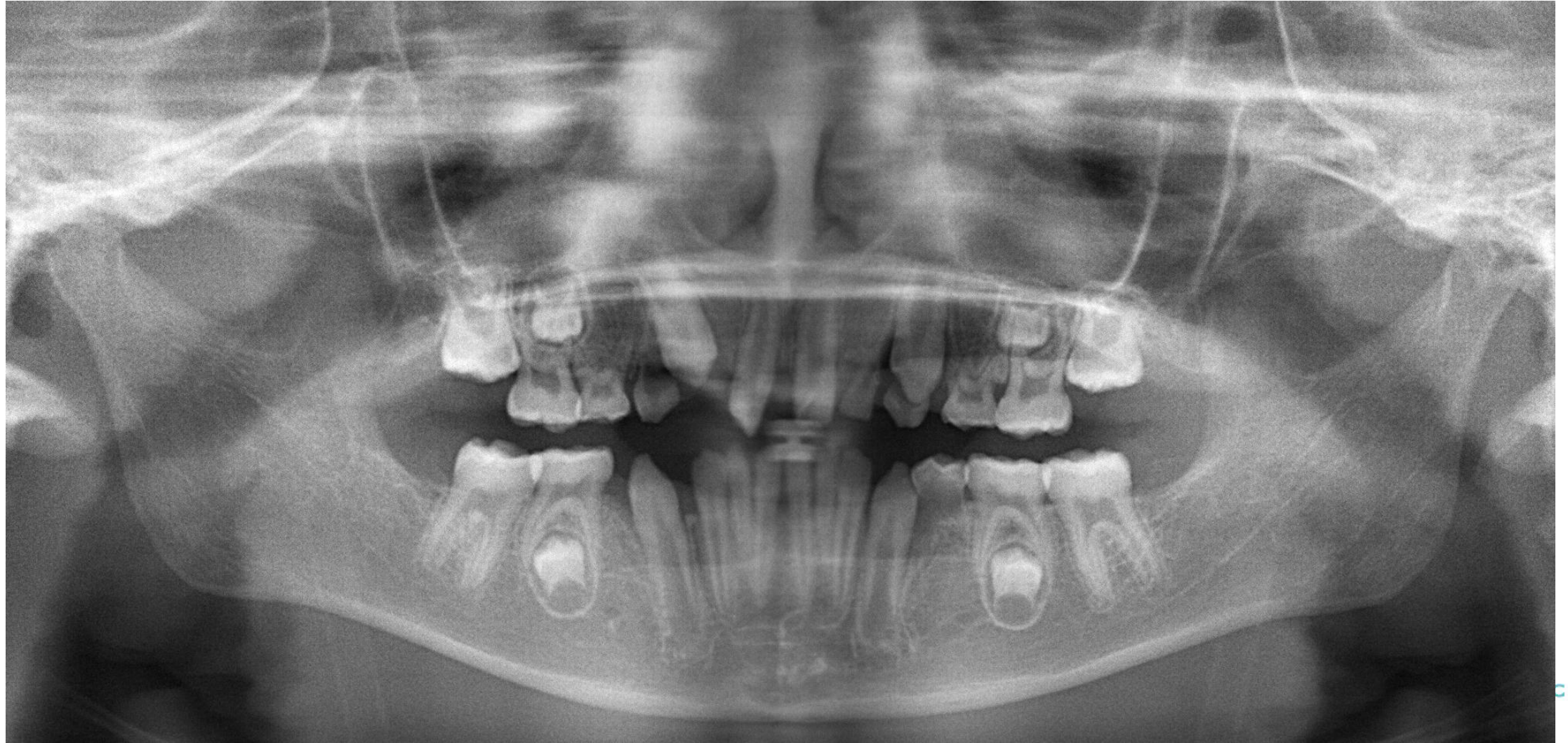
# 顔面写真








# 口腔内写真



# パノラマX線写真



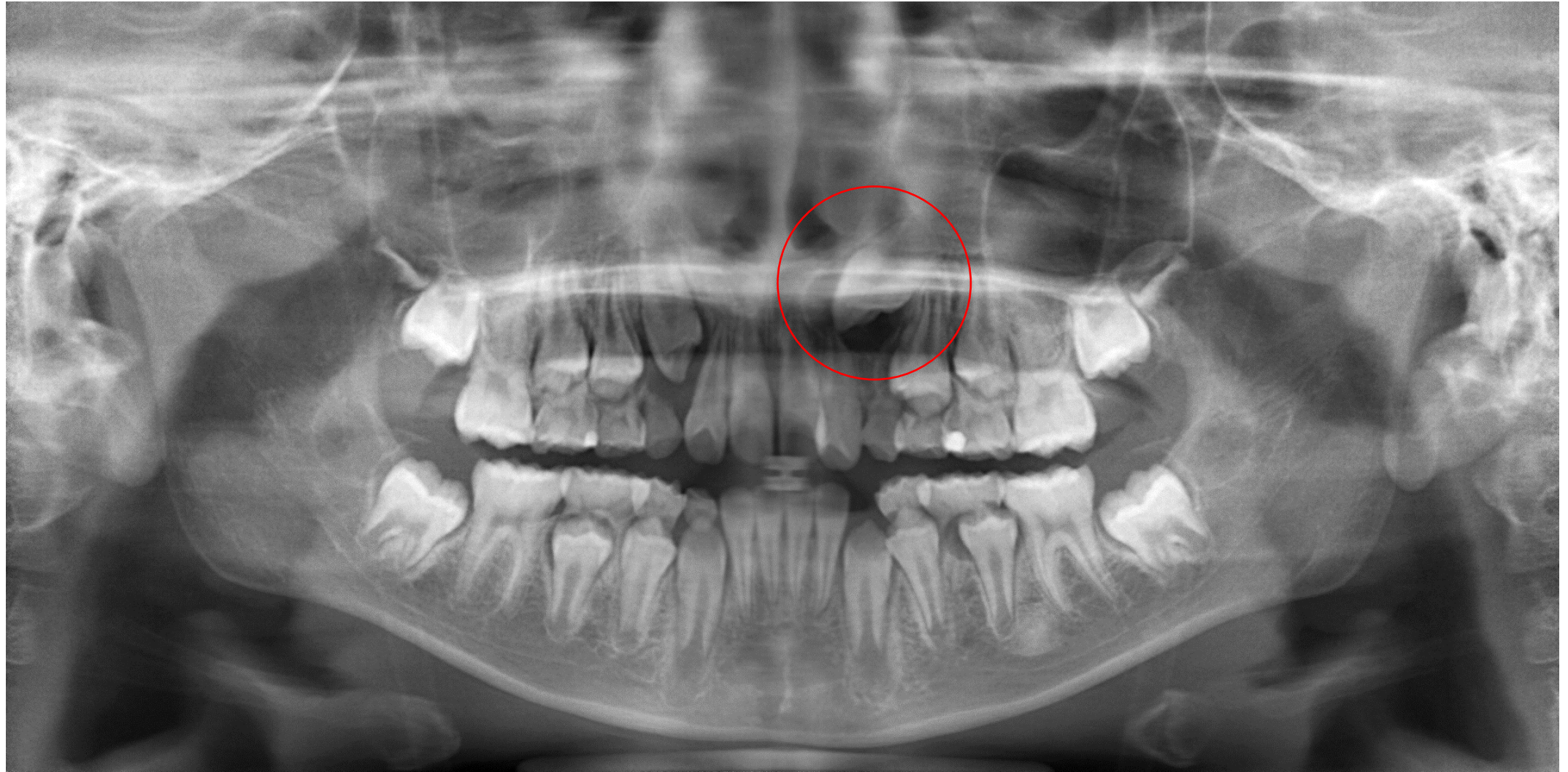
<p>ヘルマンの歯齢</p>	<input type="checkbox"/> IA:乳歯未萌出期 <input type="checkbox"/> II A:乳歯萌出完了期 <input type="checkbox"/> III A:第一大臼歯、前歯萌出完了期 <input type="checkbox"/> III C:第二大臼歯萌出開始期 <input type="checkbox"/> IVC: 第三大臼歯萌出開始期 <input type="checkbox"/> IC:乳歯萌出開始期 <input type="checkbox"/> II C:第一大臼歯、前歯萌出開始期 <input checked="" type="checkbox"/> III B:側方歯群交換期 <input type="checkbox"/> IVA:第二大臼歯萌出完了期 <input type="checkbox"/> VA:第三大臼歯萌出完了期	
<p><b>検査項目および所見</b> (実施した項目および該当する項目は✓または○で囲んでいます)</p>	<p>エックス線写真</p>	<input type="checkbox"/> デンタル <input checked="" type="checkbox"/> パノラマ <input type="checkbox"/> セファロ
	<p>写真</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 口腔内 <input checked="" type="checkbox"/> 顔面
	<p>顔面（正面）</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 左右対称 <input type="checkbox"/> 左右非対称
	<p>顔面（側面）</p>	<input type="checkbox"/> 正常 <input type="checkbox"/> 凸型（上顎が出ている） <input checked="" type="checkbox"/> 凹型（下顎が出ている）
	<p>歯型の模型</p>	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
	<p>かみ合わせの異常</p>	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし（経過観察を含む）  <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/>反対咬合(受け口)</li> <li><input type="checkbox"/>上顎前突(出っ歯)</li> <li><input type="checkbox"/>開咬(上下の前歯が開いている)</li> <li><input type="checkbox"/>その他 ( )</li> </ul>
	<p>歯並びの異常</p>	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし（経過観察を含む）  <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>叢生</li> <li><input checked="" type="checkbox"/>その他 ( <b>空隙歯列</b> )</li> </ul>
	<p>永久歯の先天欠如</p>	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明  <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/>前歯</li> <li><input checked="" type="checkbox"/>小臼歯</li> <li><input checked="" type="checkbox"/>大臼歯</li> </ul>
	<p>萌出に問題のある永久歯</p>	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし  <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>前歯</li> <li><input type="checkbox"/>小臼歯</li> <li><input type="checkbox"/>大臼歯</li> </ul>
<p>口の機能の問題</p>	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし  <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/>口の習癖    <input type="checkbox"/>咀嚼    <input type="checkbox"/>嚥下    <input type="checkbox"/>発音</li> <li><input type="checkbox"/>呼吸    <input checked="" type="checkbox"/>その他 ( <b>低位舌</b> )</li> </ul>	



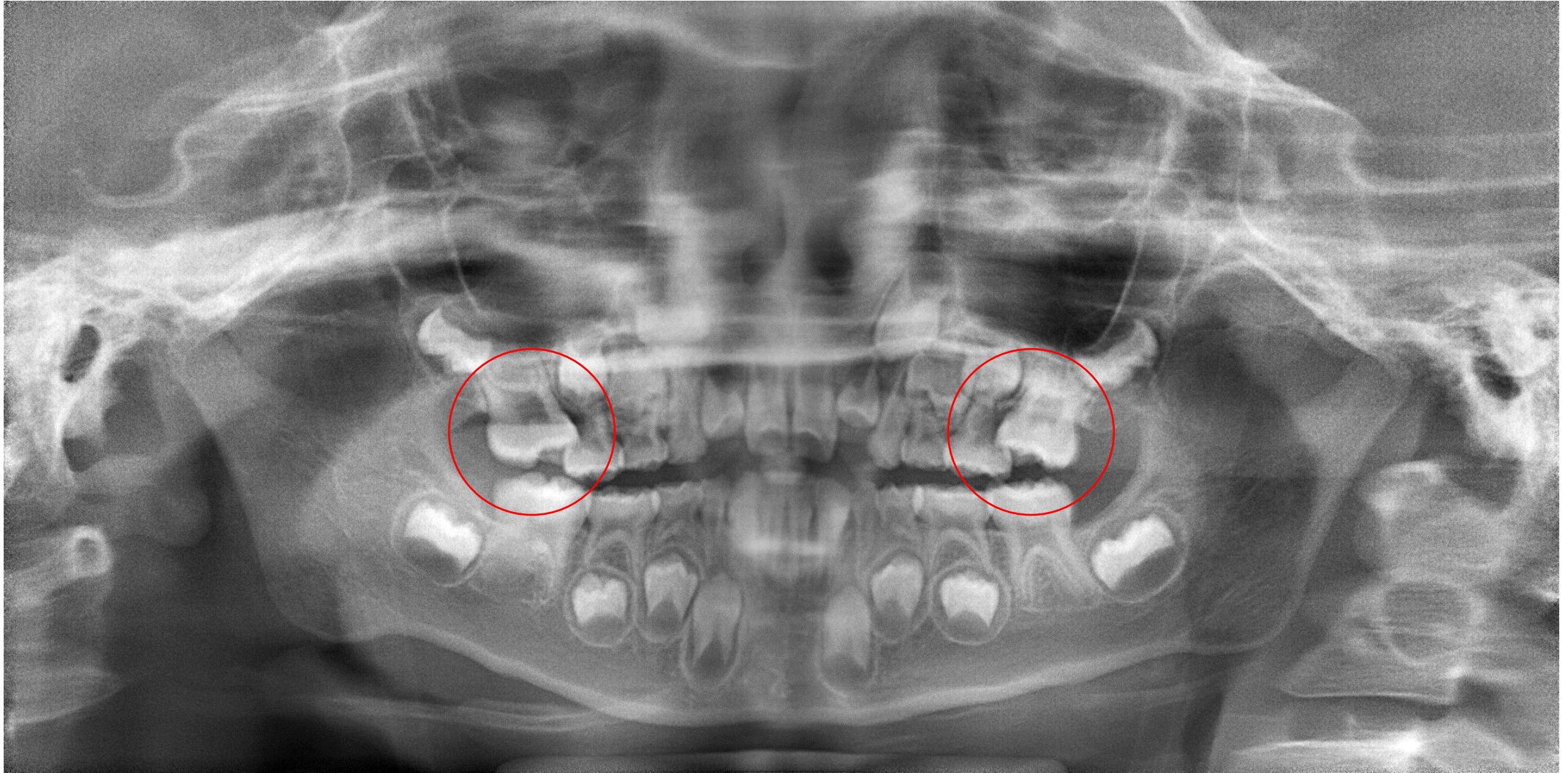
# かかりつけ医での歯列・咬合管理

小児の患者さんのリコールで  
パノラマを撮影しますか？

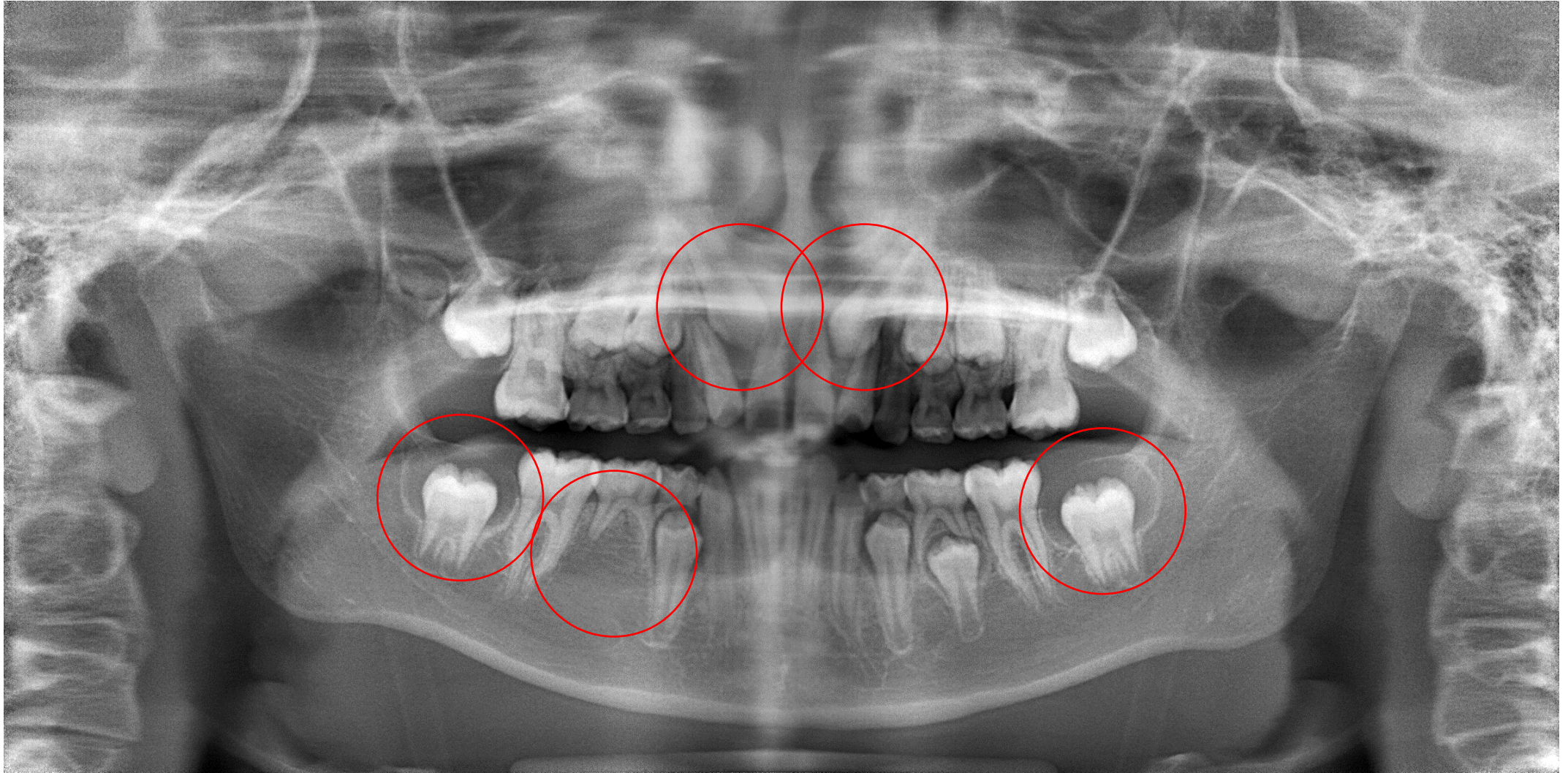
# 10歳7か月男子



# 7歳8か月男子



# 10歳8か月女子



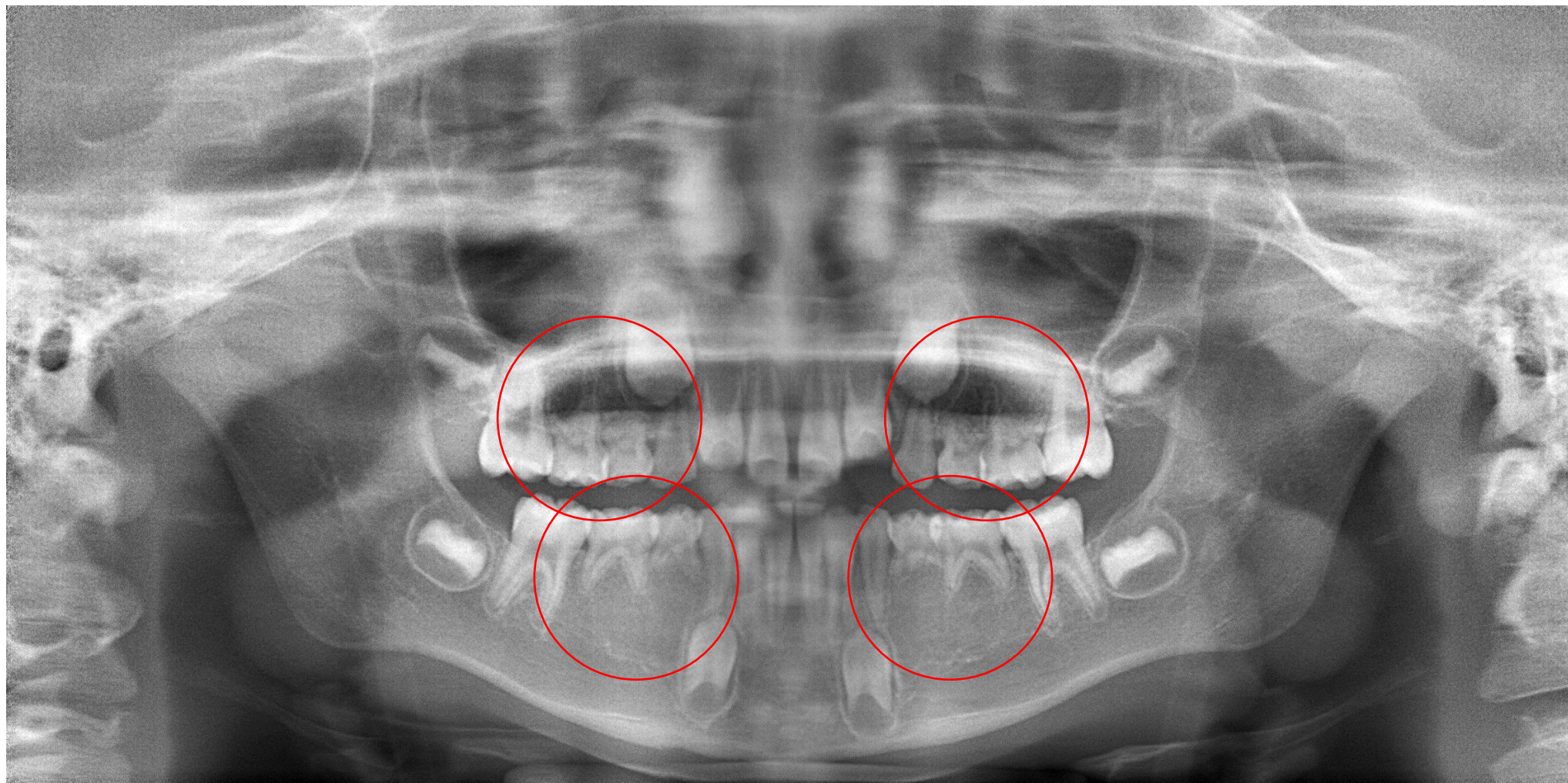
# 矯正歯科医がパノラマでまず見るポイント！

- 永久歯の歯数の過不足
- 骨内病変の有無
- 予測される叢生の強さ、上下のバランス
- 永久歯の埋伏位置・方向異常
- 萌出の左右差・歯根の形成具合
- 顎関節病変・左右差・変形性関節症の有無

かかりつけ医でのリコール時、  
ぜひ気付いて伝えてあげたい項目

1. 永久歯の先天欠損
2. 過剰歯、歯牙腫等
3. 永久歯の萌出障害
4. 永久歯の埋伏位置・方向異常
5. 含歯性嚢胞等骨内病変

# 7歳6か月男子



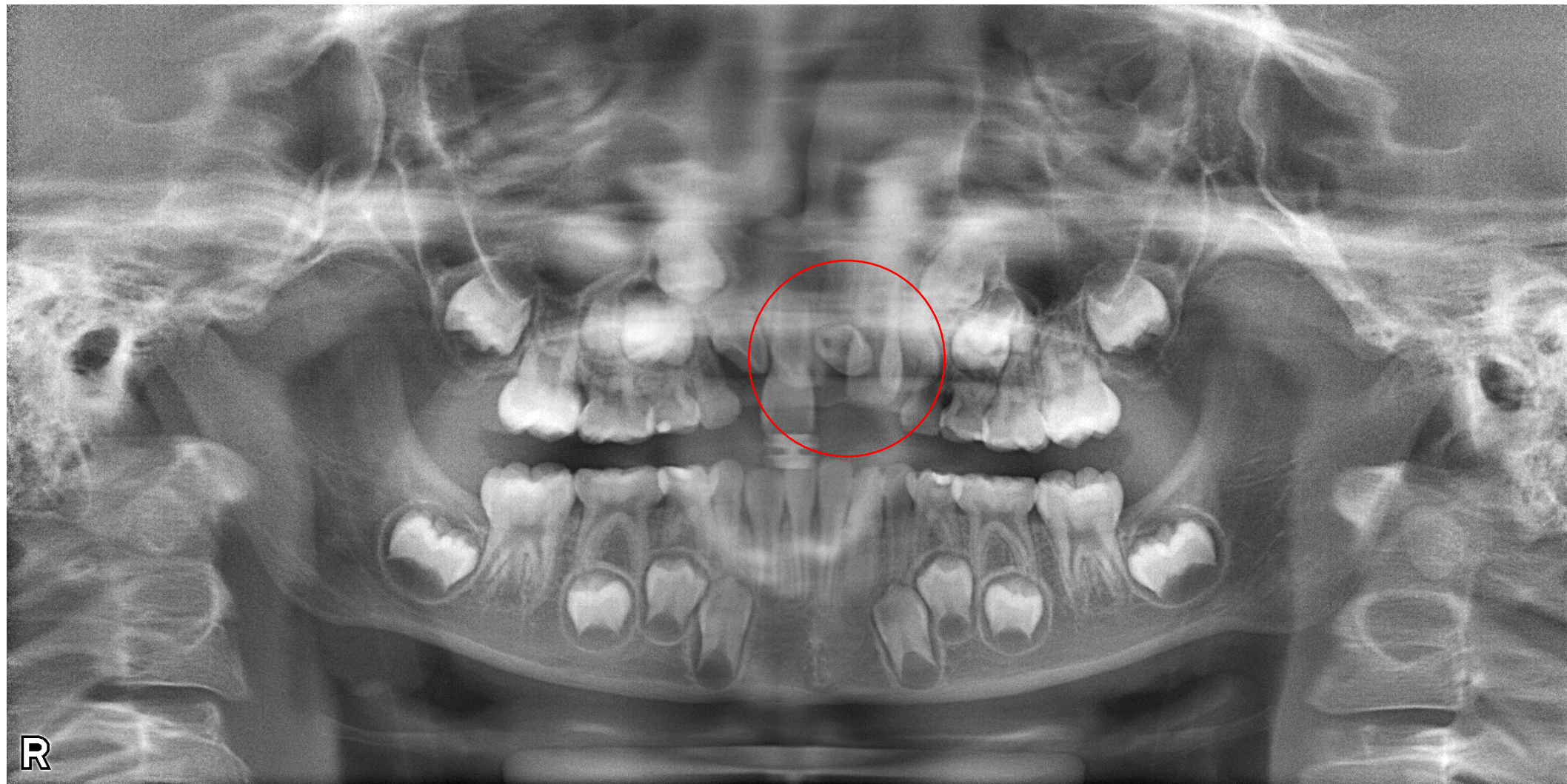
# 永久歯の先天欠損

- 先天欠損に関しては、指摘はするが、だからと言ってどうしようもない状態である
- 永久歯が先天欠損の場合、歯根の状態が良好だと30～40代まで乳歯が残存するため、虫歯にならないよう気を付けてもらう必要がある
- 乳歯の隙間を閉じる希望がある場合は、永久歯交換後の矯正治療（マルチブラケット装置による治療）という選択肢もある

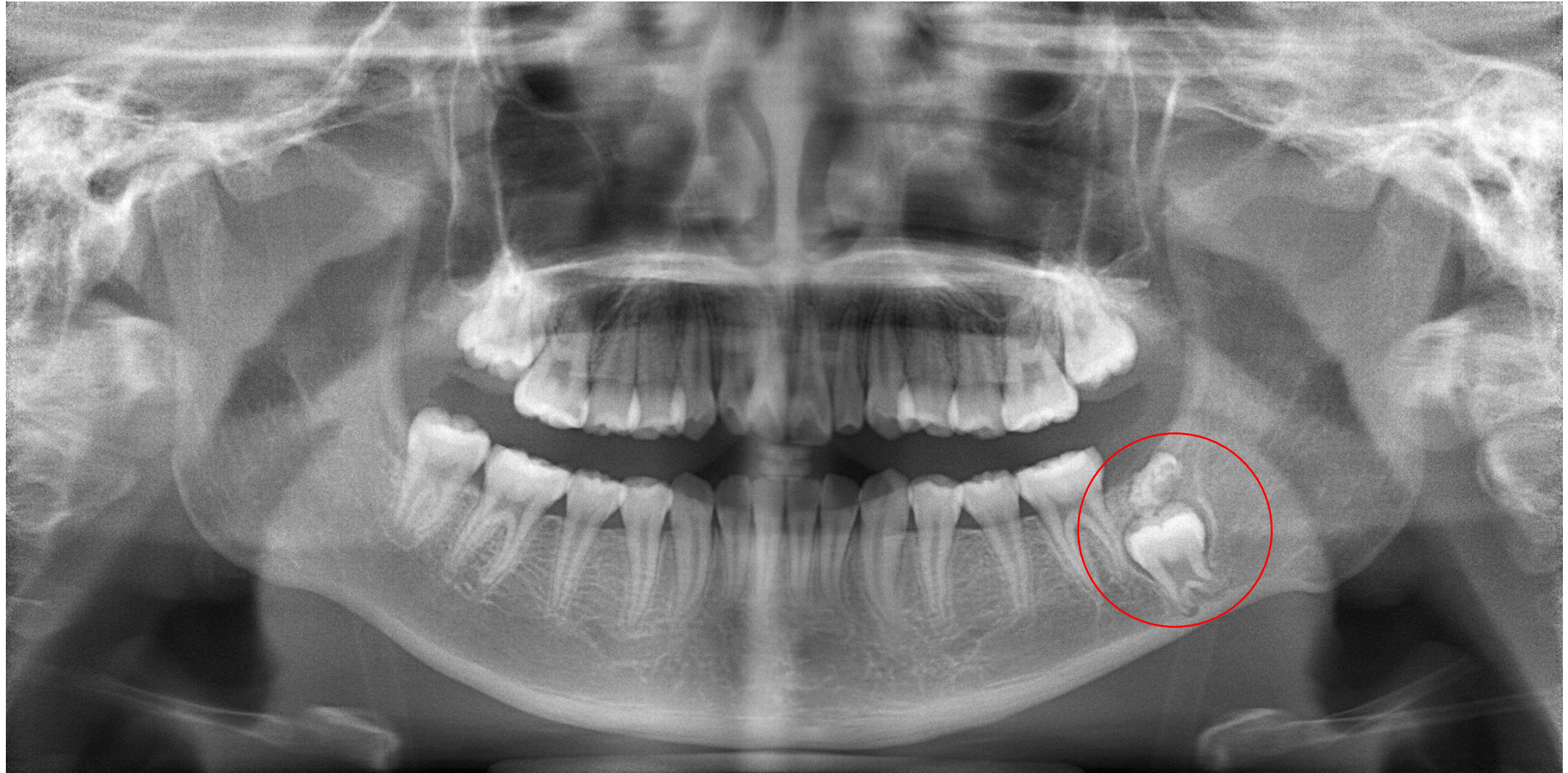
## かかりつけ医でのリコール時、 ぜひ気付いて伝えてあげたい項目

1. 永久歯の先天欠損
- 2. 過剰歯、歯牙腫等**
3. 永久歯の萌出障害
4. 永久歯の埋伏位置・方向異常
5. 含歯性嚢胞等骨内病変

# 7歳9か月男子



# 13歳1か月女子



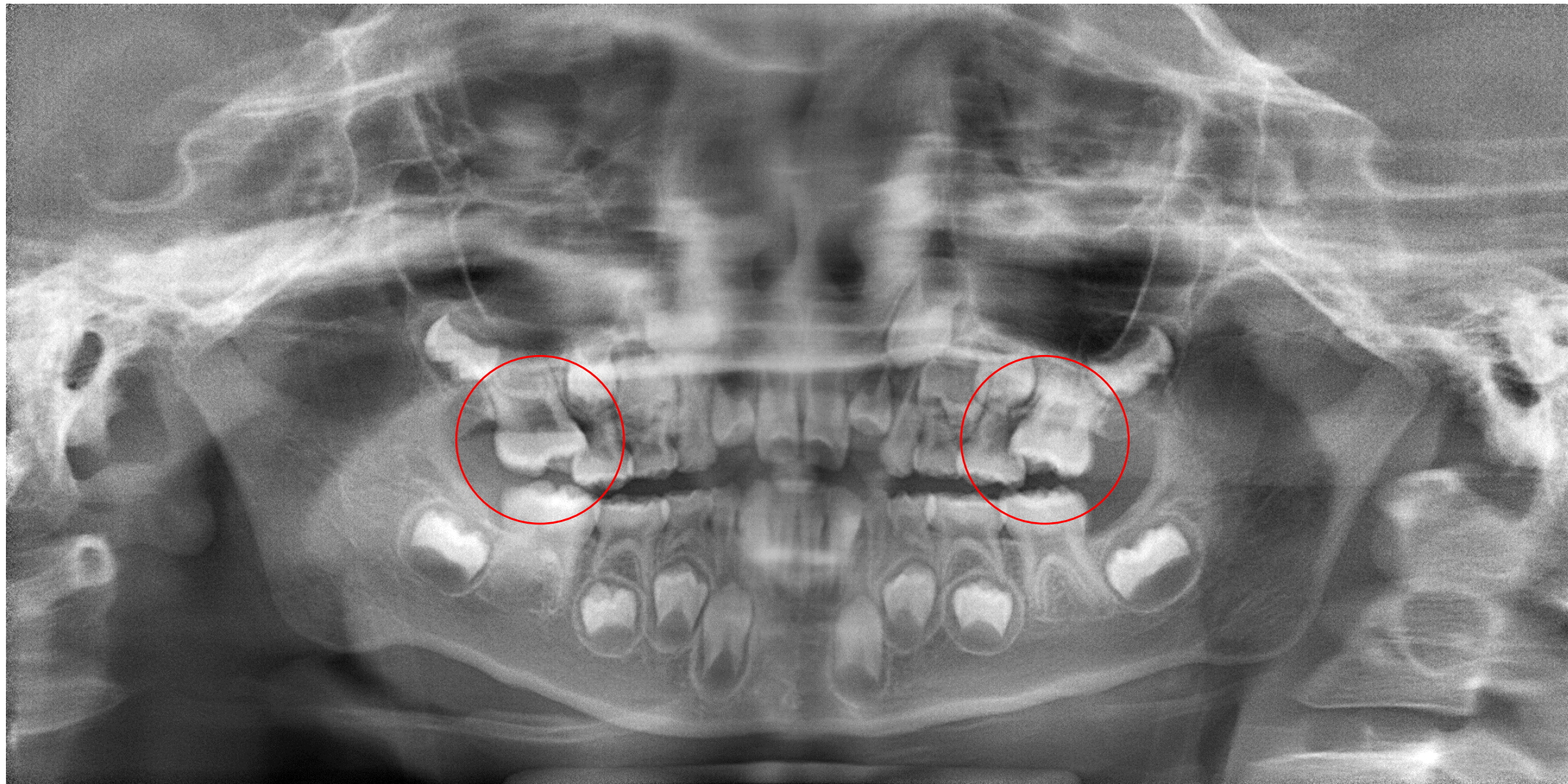
# 過剰歯・歯牙腫等

- 過剰歯・歯牙腫は、永久歯の萌出障害、萌出方向の異常を引き起こす原因となる。
- 逆生の正中過剰埋伏歯の場合、時間の経過とともに鼻腔側へと移動する可能性が高く、早めの対応が必要となる。
- 正中離開が大きい場合や、片側の歯牙の萌出遅延が明らかかな場合はパノラマ撮影で確認。

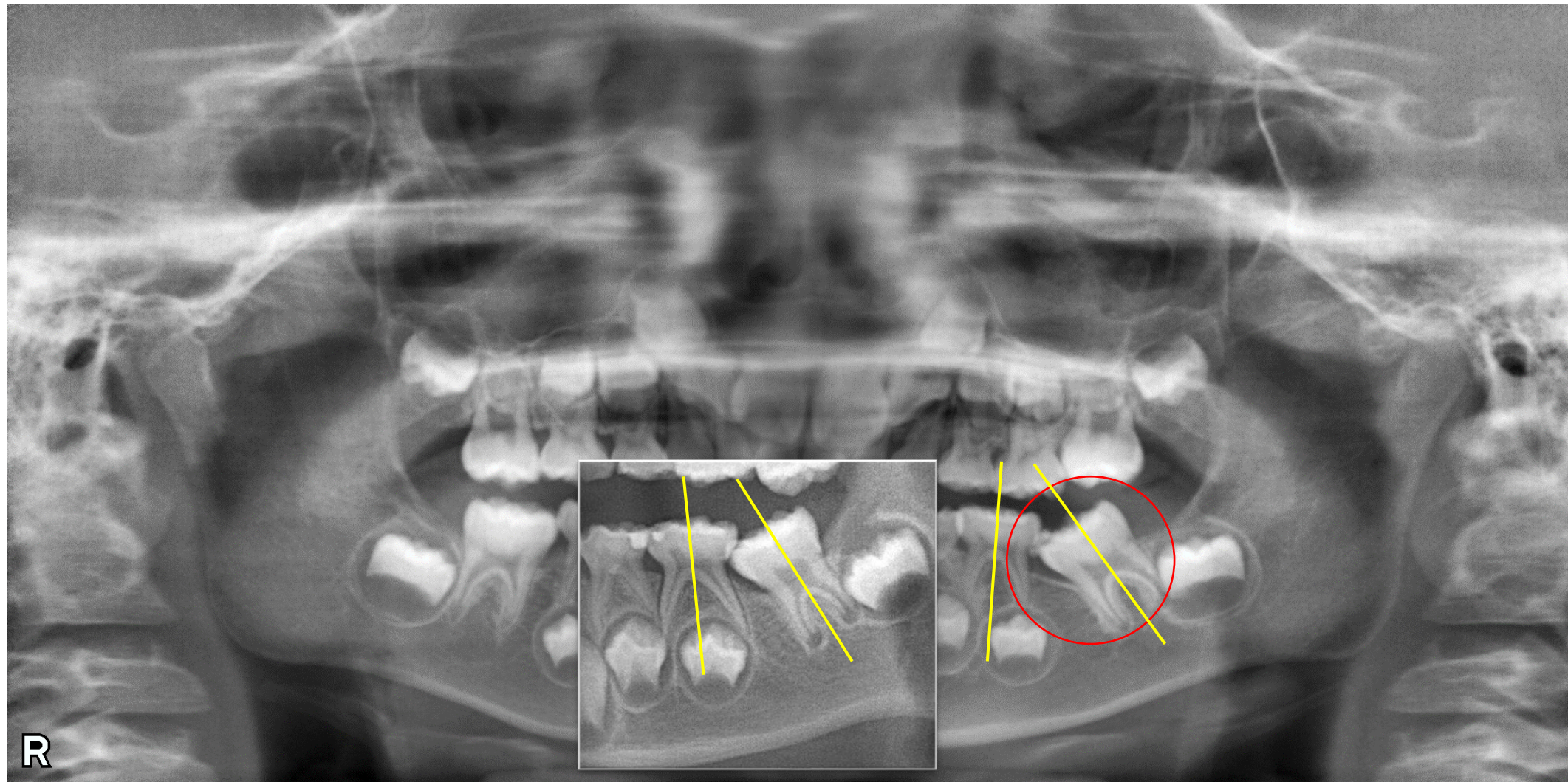
## かかりつけ医でのリコール時、 ぜひ気付いて伝えてあげたい項目

1. 永久歯の先天欠損
2. 過剰歯、歯牙腫等
- 3. 永久歯の萌出障害**
4. 永久歯の埋伏位置・方向異常
5. 含歯性嚢胞等骨内病変

# 7歳8か月男子



# 7歳8か月男子



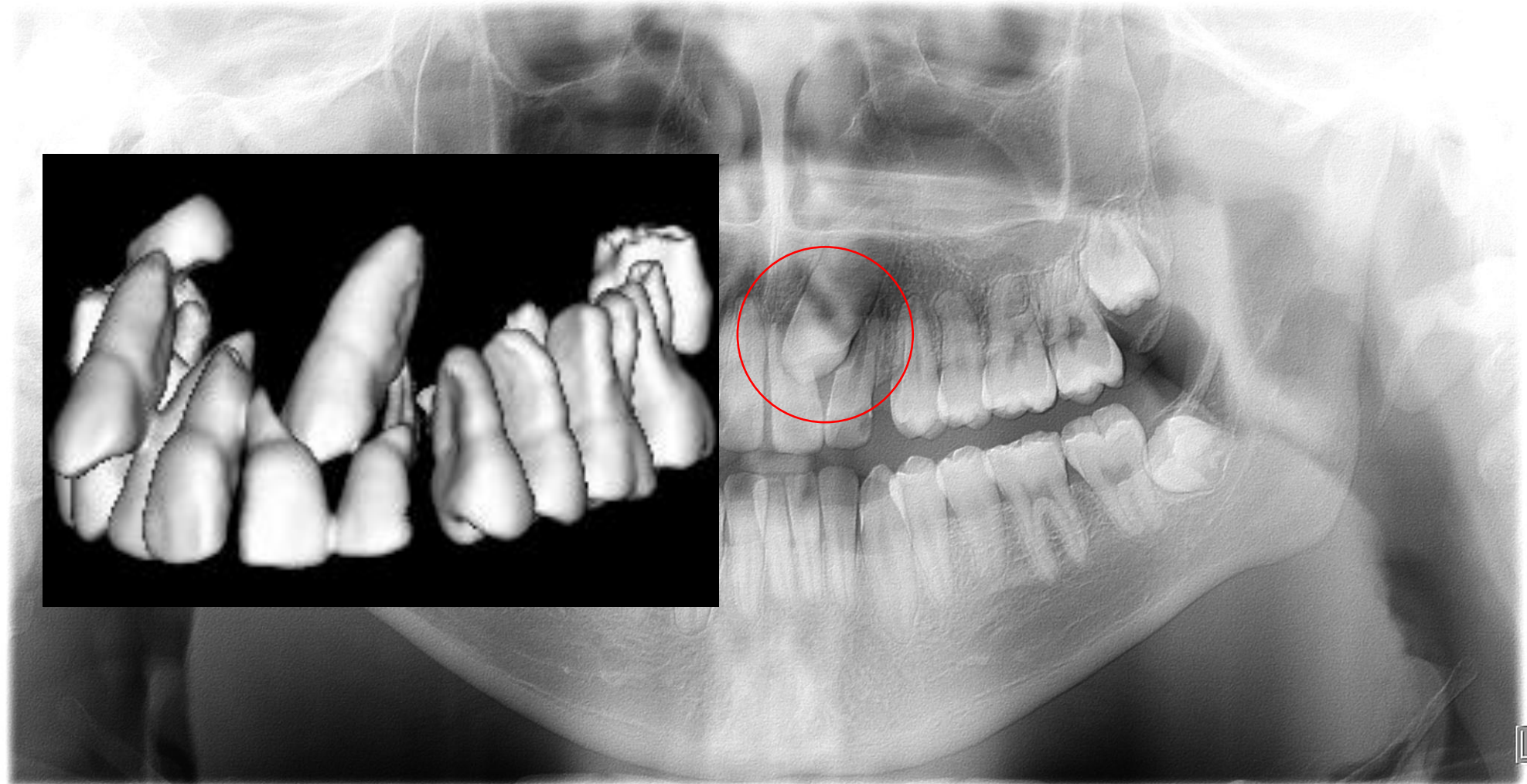
# 永久歯の萌出障害

- Eの遠心に近心傾斜した6が引っかかり、萌出障害をきたすEctopicは比較的頻繁に遭遇する  
→永久前歯は萌出しているのに6が未萌出、Eが近心傾斜や内部吸収してきた、片側の萌出後6か月経過しても萌出しないなどの兆候がある
- 萌出障害はスペース不足のみを原因として起こることは考えにくく、歯牙腫、歯嚢の嚢胞化、乳歯の影響等、何らかの原因が多い  
→早期に原因究明し、原因を取り除くことが大切

# かかりつけ医でのリコール時、 ぜひ気付いて伝えてあげたい項目

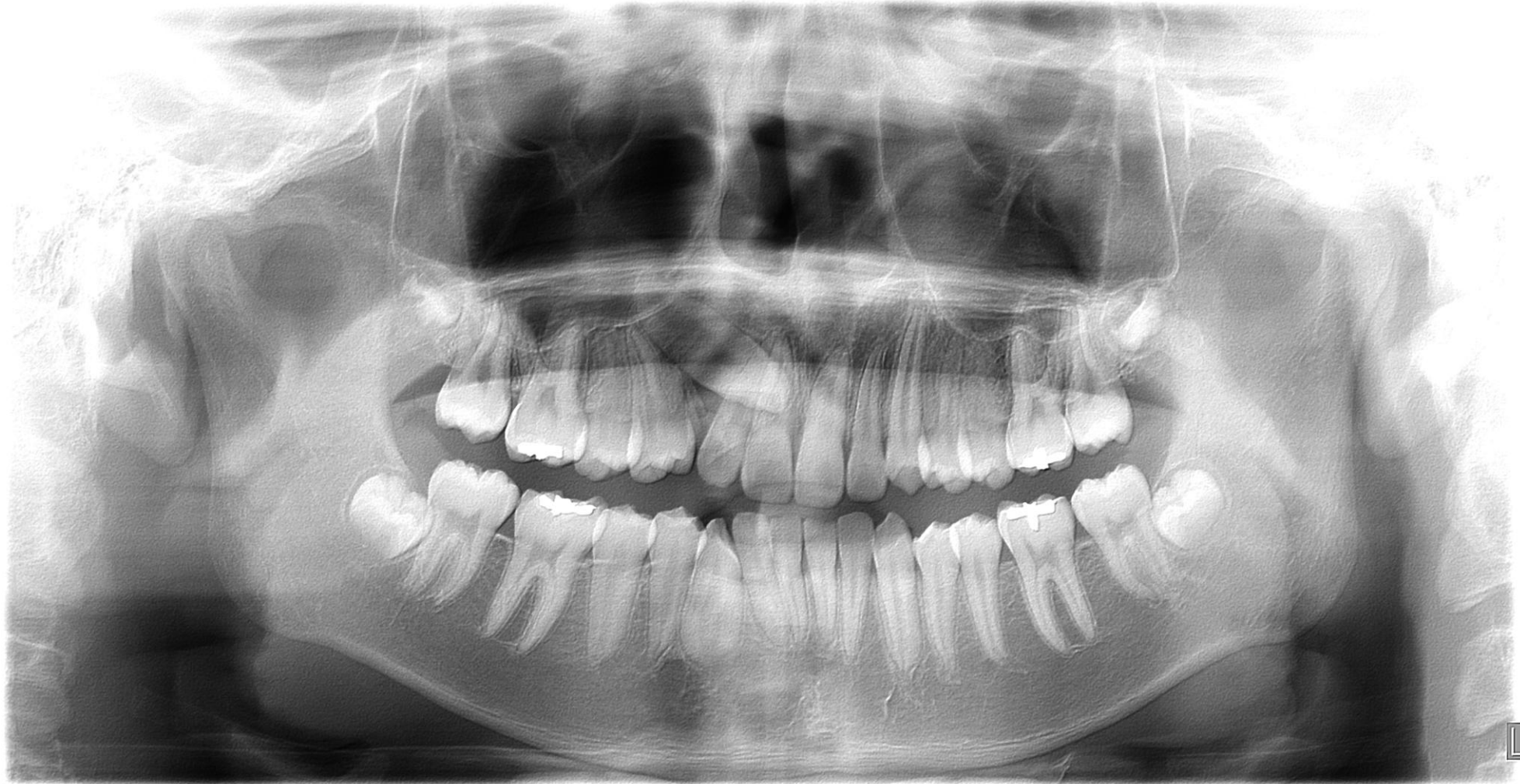
1. 永久歯の先天欠損
2. 過剰歯、歯牙腫等
3. 永久歯の萌出障害
- 4. 永久歯の埋伏位置・方向異常**
5. 含歯性嚢胞等骨内病変

# 17歳0か月男性



Orthopantomograph

# 14歳7か月男子



Orthopantomograph



# 永久歯の埋伏位置・方向異常

- 乳歯の交換時期の左右差が大きい場合には必ずパノラマで一度チェックする
- 埋伏歯の歯冠の向きによって、すぐ牽引した方が良いか、暫く経過観察後の方が牽引しやすいのか、見極めが大切
- 他の永久歯の歯根を吸収してしまう可能性がある場合は早めの牽引が必要  
→CTで必ず確認する

# かかりつけ医でのリコール時、 ぜひ気付いて伝えてあげたい項目

1. 永久歯の先天欠損
2. 過剰歯、歯牙腫等
3. 永久歯の萌出障害
4. 永久歯の埋伏位置・方向異常
5. **含歯性嚢胞等骨内病変**

# 11歳10か月女子



# 13歳11か月男子



# 8歳0か月男子



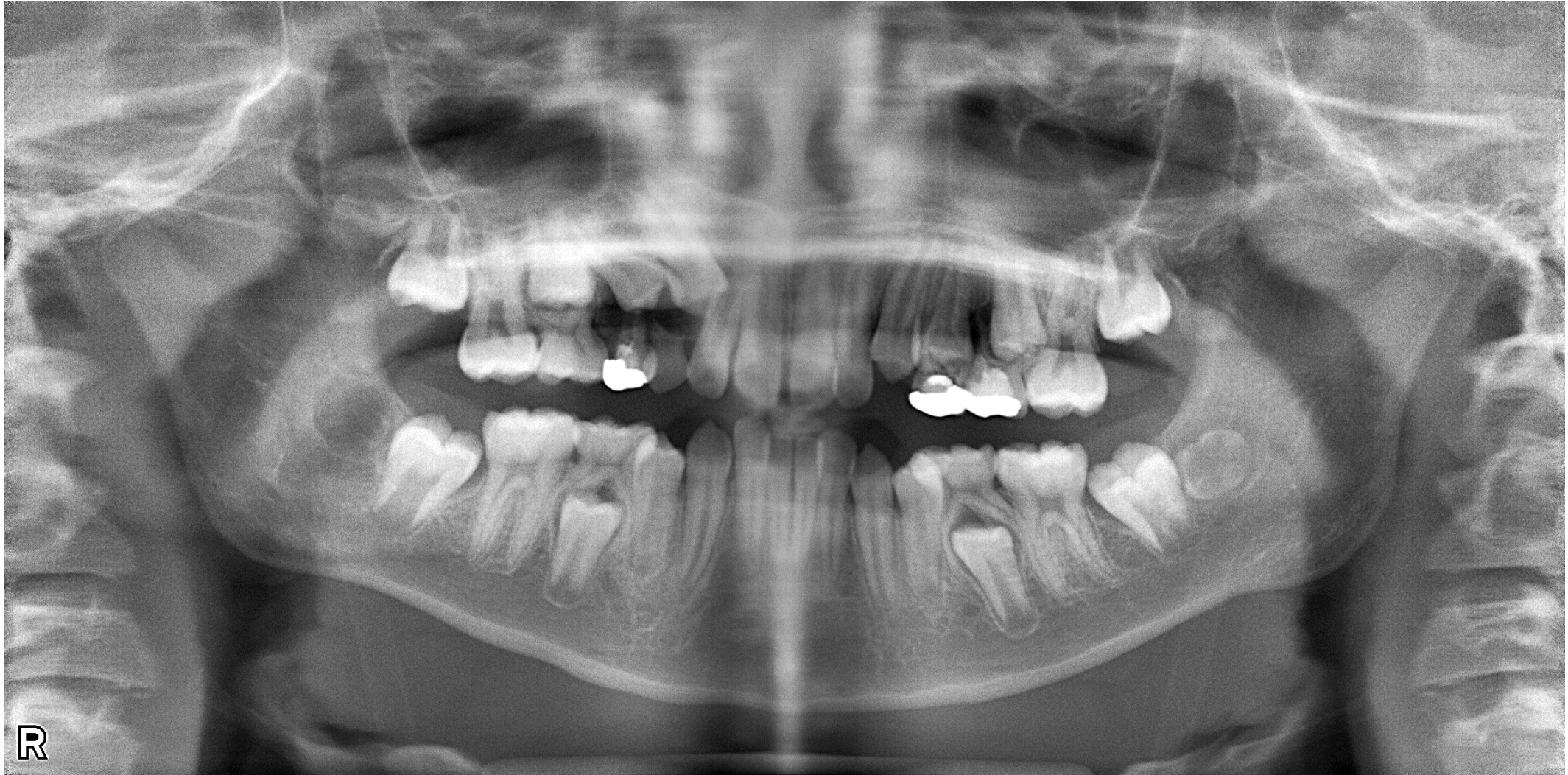
R

# 含歯性嚢胞等骨内病変

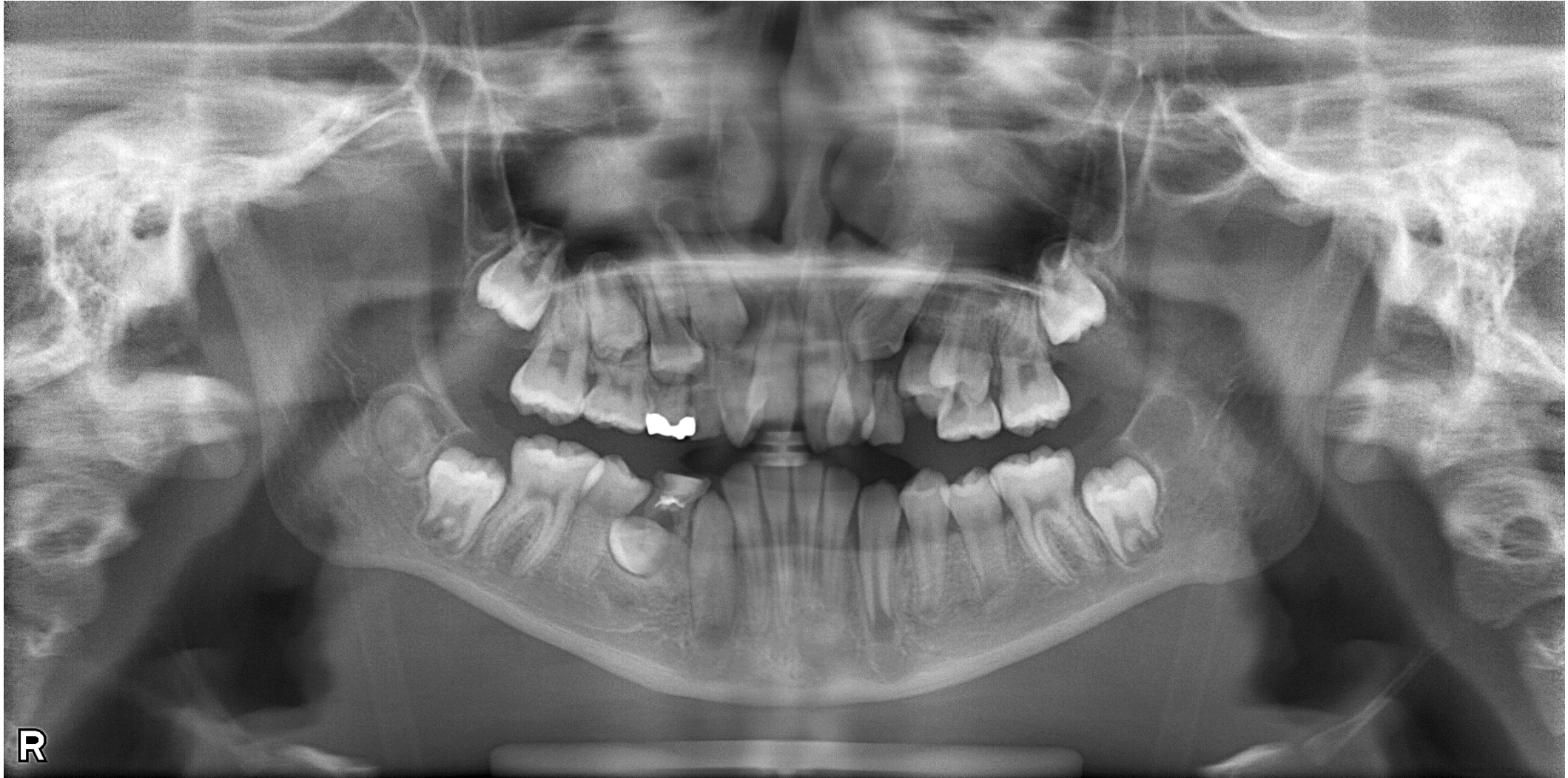
- 交換期に歯嚢が含歯性嚢胞様になり、萌出不全を起こしていることがある
- 放置しても自然萌出しづらく、嚢胞が大きくなる、萌出力が低下等の可能性があるので、早めの対処が必要となる
- 基本は開窓＋牽引となるが、埋伏方向・深さ・歯根の完成度によっては、開窓後、暫く経過観察で自然萌出する場合もある

乳歯のPerには要注意！

# 10歳10か月女子



# 13歳0か月女子



# 乳歯のPer

- 乳歯のPerによって永久歯の歯胚が移動して、萌出不全を起こすことがある
- 原因が取り除かれる（乳歯の抜歯と搔爬）と、移動した歯胚は、正しい場所へ戻り、自然萌出することが多い

# パノラマで確認が望ましい口腔内所見

- 乳歯の交換時期の左右差が大きい場合
  - 反対側萌出後、6か月以上差がある
- 通常萌出してくる時期よりかなり遅い場合
  - 6未萌出（Ectopic、先天欠損）
- 明らかに永久歯の萌出位置異常、  
異常な傾斜を伴う場合
  - 前歯・側方歯の著しい頬舌側転位（含歯性嚢胞、Per）

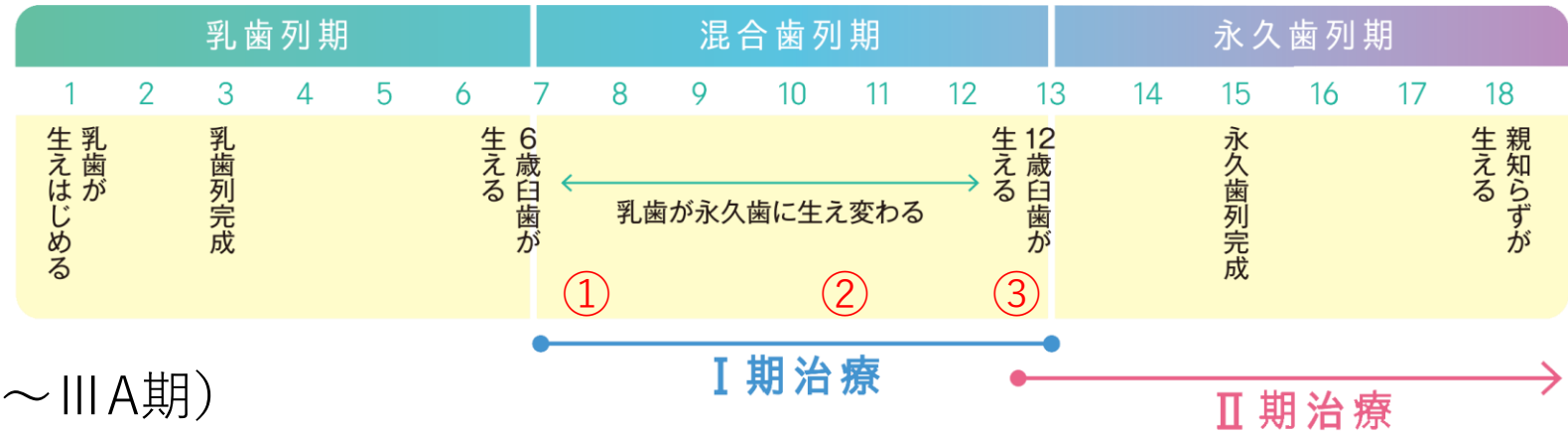
表4 乳歯の発生から脱落まで

歯種	歯胚形成 (胎生)	石灰化開始 (胎生)	歯冠完成 (生後)	萌出 (生後)	萌出順序	歯根完成 (生後)	歯根吸収開始	脱落 (交換)
$\frac{A}{A}$	7週	4~4½月	1½~2½月	7½月	3	1½年	4½年	7~8年
				6月	1		4年	
4½月		2½~3月	9月	4	1½~2年	5年	8~9年	
			7月	2			12年	
$\frac{C}{C}$	7½週	5月	17~19月	18月	8	3¼年	9年	12年
				16月	7			10~12年
8週	16~18月		14月	6	2½年	6~7年	10年	
			12月	5			11~12年	
$\frac{D}{D}$	10週	6月	24~25月	24月	10	3年	7~8年	11~12年
				20月	9			

表5 永久歯の発生から歯根完成まで

歯種	歯胚形成	石灰化開始	歯冠完成(生後)	萌出(生後)	萌出順序	歯根完成(生後)
$\frac{1}{1}$	胎生5~5½月	胎生3~4月	4~5年	7~8年	3	9~10年
				6~7年	2	
$\frac{2}{2}$	胎生5~5½月	生後10~12月	4~5年	8~9年	4	10~11年
		生後3~4月		7~8年	3	
$\frac{3}{3}$	胎生5½~6月	生後4~5月	6~7年	11~12年	8	12~15年
				9~10年	5	
$\frac{4}{4}$	出生時	生後1½~2年	5~6年	10~11年	6	12~13年
				10~12年	7	
$\frac{5}{5}$	7½~8月	生後2~2½年	6~7年	10~12年	7	12~14年
				11~12年	8	
$\frac{6}{6}$	胎生3½~4月	出生時	2½~3年	6~7年	1	9~10年
$\frac{7}{7}$	8½~9月	生後2½~3年	7~8年	12~13年	10	14~16年
				11~13年	9	
$\frac{8}{8}$	3½~4年	生後7~10年	12~16年	17~21年	11	18~25年

# いつパノラマを撮るか？



## ① まずは7～9歳で（II C～III A期）

- 歯数（歯胚）の過不足、前歯・6の萌出方向、犬歯の埋伏位置、叢生の重症度の確認
- 矯正歯科へ紹介しやすい時期

## ② 側方歯群交換期（III B期）

- 側方歯群の萌出時期・方向のcheck

## ③ 必要に応じて $\frac{6}{6}$ ⇄ $\frac{6}{6}$ 交換後（III C期）

- 7の萌出方向の最終確認、8の埋伏位置・方向の確認

# パノラマを撮影し、異常所見が見つかった時の対応

- 自院で対応できるもの（咬合状態に問題ない場合）

永久歯の先天欠損→説明のみ

Perによる永久歯歯胚の位置異常→当該乳歯の抜歯・搔把

過剰埋伏歯・歯牙腫→明らかに抜歯のみでOKなものは紹介抜歯

- 場合によっては自院で対応できるもの

6のEctopic→歯冠分離（セパレーション）、乳歯隣接面削合

- 矯正歯科へ紹介すべきもの

歯列・咬合状態に影響が出ているもの

乳歯の抜歯のみでは改善が見込めないもの

永久歯の萌出方向を変える必要があるもの